



令和6年3月19日
港区立青山小学校
PTA会長 林 憲一郎

Vol.6

☆ 一年間ありがとうございました ☆

第六回常任委員会 書面開催（令和6年3月14日がくぷり配信 3月17日意見集約）

*以下の内容は常任委員会開催時の内容です。

【PTA 会長より】

今月は卒業式を控えており、6年生にとって忘れられない思い出となるよう、私たち全員で支援していきたいと思います。また、この1年間、PTA活動に尽力された役員の皆様には、心からの感謝を申し上げます。来期も継続してPTA活動をされる皆様、よろしくお願いいたします。

【校長先生より】

- ・令和5年度、子供たちが安全・安心な学習活動に取り組めたのは、PTAの皆様のご理解とご協力があったからこそと考えております。この場をお借りして、感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・コロナ禍の制限ある教育活動から、今年度は一気に広がりある活動になってきました。これまで、引き継がれていたことが数年間中断していたことにより、再構築が必要な場面もあったかと思えます。ですが、皆様の連携と緻密さ・迅速さは、学校にとって大変ありがたく、心強いものでした。
- ・令和6年度以降も、人権教育とSDGsを柱にして、「共に生き 共に学ぶ学校」を作りたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

【学校より】

- ・本校では、SDGsを柱として「物事をより広く、深く考え、自分事として行動・発信できる児童の育成～青小が始める持続可能な社会づくり～」をテーマに研究に取り組み、3年目を終えようとしています。研究に取り組む過程で常に大切にしてきたことは、持続可能な社会を実現するために、子供たちが目の前の事象を現実のこととして受け止め、自らが率先垂範して行動に移す実践的思考力を育む授業づくりでした。学んだことを知識として理解することに留まらず、家族や地域を巻き込みながら、実践することを目指していく青山小学校の子供たち。3年生が取り組んだノートのリサイクル活動は、校内に留まることなく公共機関や地域企業の協力を得ることができました。4年生の環境学習では、ごみを減らすために必要な取組や意見をまとめ、自分たちの声として港区長に手紙という形で届けていただくことができました。問題を解決する上で大切なことは、自分たちだけでなく地域の方々や行政と共に取り組んでいくことだという子供たちの強い思いが区長に伝わり、直接お返事をいただくことができました。

・私たちはこの研究を通して、この青山の地から平和な社会、共生・共存の社会、持続可能な社会を創造する担い手となる児童の育成に組織一丸となって取り組んできました。そして、子供たち一人一人の豊かな学びと成長という成果を残すことができたということは、本校の今後の大きな財産となりました。

・結びとなりましたが、今年度もPTAの皆様方からは、多大なるお力添えを賜りましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【役員会 6年学代より】

・3月1日（金）の6時間目に感謝の会が行われました。

【役員会 広報部より】

・広報誌の第3号を3月18日（月）に発行予定です。

【PTA本部より】

・来年度の委員集会は4月24日（水）の全体保護者会の後に予定しています。

